ブラジル都道府県連合会創設 60 周年記念式典について（報告）

令和８年 11 月 27 日
全　国　知　事　会

１．概要

○　ブラジル移民とその子孫等で組織するブラジルの各都道府県人会の連合会（以下、「ブラジル県連」という。）が創設 60 周年を迎え、全国知事会に式典参列の依頼。阿部会長の代理で事務総長及び総務部職員の 2 名で訪伯し、式典へ参列（訪伯期間：9 月 18 日（金）～ 9 月 23 日（水））

○　式典には、ブラジル県連関係者、各都道府県人会関係者のほか、来賓として在ブラジル日本国特命全権大使、在サンパウロ日本国総領事、JICA ブラジル事務所長など約 300 名が参列。全国知事会を代表して事務総長より祝辞

○　式典への参列のほか、ブラジル県連役員と以下の交流

- サンパウロ市内にある「ブラジル開拓先没者慰霊碑」への参拝、現地日本人の融合の象徴である「日本館」、「ジャパンハウス」及び「日本移民史資料館」など移民に関連する施設等を訪問
- 同県連の事務所において、役員（各県人会会長の中から選任）と各県人会の現状や今後のあり方などについて意見交換

２．ブラジルとの交流について

○　同県連では、日本での出身県とのつながりに重きを置き、世界最大規模のイベントである「ジャパン･フェスティバル」などにおいて、各県の名産品など日本文化の発信に尽力。一方で、二世、三世と世代交代に伴い活動が低調化。会の維持ほか活性化が課題

○　2028 年にブラジル移民 120 周年。それに先立ち、来年 5 月に谷口ブラジル県連会長（和歌山県人会会長）が来日し、関係各所の訪問のほか GREEN×EXPO の視察も予定

【式典の模様】



【式典の模様（ブラジル県連役員との記念撮影）】

